

平成 29 年度幼児教育の推進体制構築事業

しっかりつなぐ育ちのバトンカリキュラム

～接続期の子どもの育ちについて考える～

— 実践事例集 —

名 張 市

名張市教育委員会

平成30年2月

はじめに

平成 28 年度より本市では、文部科学省の「幼児教育の推進体制構築事業」の研究委託を受け、「幼児教育の質の向上を図るために必要な推進体制に関する調査研究を行い、幼児期と児童期のスムーズな接続を実現させる。」ことを目的に、「幼児教育アドバイザー」配置及び接続期のカリキュラム作成に関する調査研究を始めました。小 1 プロブレムの状況がみられることを踏まえ、幼児教育アドバイザーが小学校・幼稚園・保育所（園）・認定こども園を巡回して、相互の職員への指導を行ってきました。また、保・幼・小のなめらかな接続をめざして指導内容・指導方法を明確化するために、接続期カリキュラムとして「しっかりつなぐ育ちのバトンカリキュラム」（試行版）を作成するとともに研修の機会の充実を図る取組について検討してきました。

平成 29 年度は、名張幼稚園・桔梗南幼稚園・錦生保育所をモデル園として、「しっかりつなぐ育ちのバトンカリキュラム」（試行版）に基づく実践に取り組み、カリキュラムの内容を検証しました。また、保・幼・小の職員が双方向から接続期の保育・教育を考えるために公開保育・公開授業を行う等、研修の機会の充実を図りました。本冊子は、これらのおもな取組を実践事例集としてまとめたものです。今後、「しっかりつなぐ育ちのバトンカリキュラム」（試行版）及び「しっかりつなぐ育ちのバトンカリキュラム実践事例集」を指針とし、市内各園において、さらなる取組を進めていきたいと考えます。

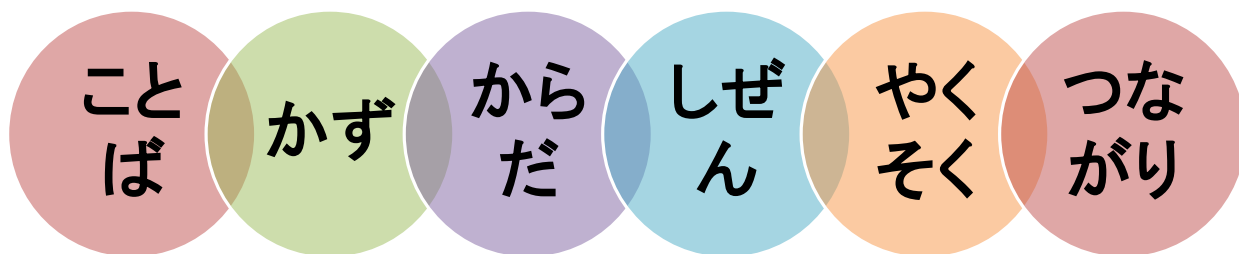
平成 3 0 年 2 月

名張市における接続期のカリキュラム

本市における接続期のカリキュラムは、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、名張市のめざす教育の実現に向け、5歳児の4月から小学校1年生の3月までの2年間で、「幼児期における学びの土台の力」＝「学びの芽」を小学校における教科学習に丁寧につなぐ役割を担うものです。

幼児期における「学びの土台の力」＝「学びの芽」は、小学校における教科学習への見通しをもちながら、遊びや生活の中で個々の発達や興味関心に応じながら育んでいくものです。小学校教育の前倒しや早期教育を実施するなかで獲得されるものではありません。幼い子どもは歩く練習をして歩けるようになるのではなく、立って歩く前にしっかりハイハイをし、ハイハイの中で身体の筋力や平衡機能などを身に付けこれらの力が土台となって、つかまり立ち、つたい歩きをへて、一人歩行ができるようになることと同様です。幼児期に育むべき様々な力を幼児教育の特徴である環境を通して行うことで、小学校の学びの土台ができあがります。

接続期のカリキュラムは、これらの力が「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の5領域の中で総合的に育まれることを前提としながら、名張市の子どもに育みたい力にたらし、幼児期における「学びの土台の力」＝「学びの芽」を**6つの重点カテゴリ**として抽出することで編成しています。6つの重点カテゴリは、<ことば> <かず> <からだ> <しぜん> <やくそく> <つながり>とします。



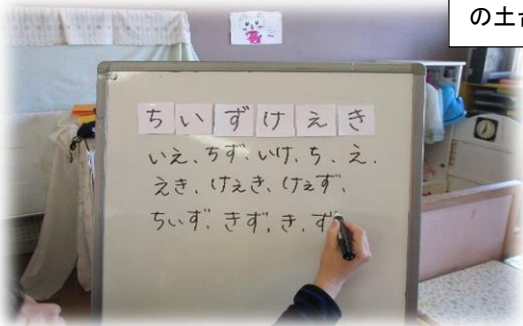
これらの重点カテゴリを、小学校1年生の教科・領域の学習との連続性を意識し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の先を見通すために、教科・領域につなげていきます。（「しっかりつなぐ育ちのバトンカリキュラム」P.〇〇参照）

実践事例

ことば

- ◆体験したことを言葉や絵、身振りにより表現する。
- ◆いろいろな線や形を自由に描く。

話し言葉を十分に使用し、言葉で考える力が育っていることが、重要な「学びの土台の力」となります。



ひらがな習得の前段階で1文字がひとつの音を表し、ことばは「音のつながり」ということを理解します。1文字違うだけで意味が変わるだけじゃれや韻をふむ詩なども楽しめます。

絵本や物語に親しみ、自分の気持ちを言葉で表現したり、言葉を豊かにしたりします。

写し絵
絵や模様を描く遊びができるような保育室の環境を準備しておくことで、子どもたちがすすんで小さな枠の中に色を塗ったり、絵を写したりします。



小さな枠の中に絵や模様を描く遊びを取り入れることで、線や形を見て描ける力(視覚～運動統合能力)を育みます。



しぜん

図鑑で調べる
身近な小動物を継続して観察したり、その特性や食べ物などを図鑑で調べたりしながら、親しみをもって世話をします。

♪
りんろりろりろ、
りんろりん～



クラス活動で歌うことで、友だちと自然に口ずさむ姿があります。歌の中の言葉に親しんだり、リズム楽器を使ったりする楽しさを味わいます。思いのままに歌ったり、リズム遊びを楽しんだりして表現の土台を育みます。

- ◆かんたんな数や量や形の感覚を生活や遊びの中で体験する。
- ◆体験したことを数や量や形を使って表現する。

かず

遊びや生活の中で、数・文字に親しむ経験を重ねながら、興味・関心・感覚を深めていきます。



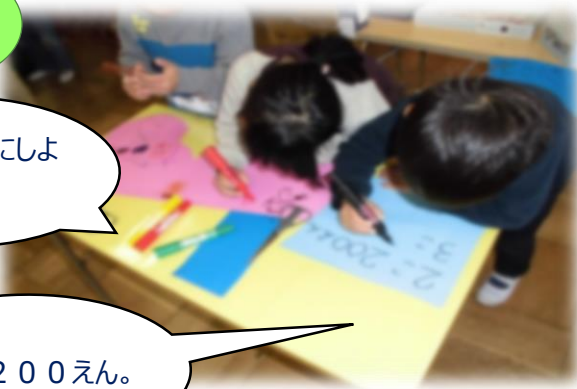
いらっしやいませ！！

つながり

お店やさんごっこ
心が動くお店屋さん見学したことを言葉で伝え合いながら、お店屋さんやお客さんになり切ります。

かず

これは、何円にしよ
うかな



2こ、200えん。

お店やさんごっこ（準備）
「どうしたらうまくいくかな」と相談し、自分たちで役割を決め、工夫したり協力したりする姿も見られます。



なんまい
とれるかな？

かず

やくそく

カルタ すごろく
文字や数への興味関心が芽生え始めるこの時期に、カルタ遊びを楽しみます。ルールや順番を守ることで友だちと遊びを楽しめることを経験します。

やったー！
もうすぐやな



11月は、
楽しいことがいっぱいや

1時間単位の時刻、曜日や昨日、今日、明日がわかり、使うことができますようになります。

やくそく

予定を見て、子どもが話し出します。見通しをもつことの経験となります。

実践事例

しぜん

- ◆自然や生き物の不思議さや生命の大切さを感じる。
- ◆素材や道具等にかかわり、性質や仕組みに興味関心を持つ。

自然とのかかわり



身近な生き物とかわる中で、生命の神秘、生命の大切さなども感じ学んでいきます。自分たちで工夫したり調べたりして、より詳しく知ろうとする姿も出てきます。



「カマキリにえさをやろう！」

友だちと手分けしてバッタを捕まえ、カマキリのえさにしています。

ここもいるから、うごかしてみよう。

よし！ Rくん
そっち もってな。
せ〜の！

つぎは、これ
うごかそう！

ダンゴムシ発見！

ダンゴムシがプランターの下にいることは経験から知っているため、友だちと協力しながら次々とプランターを動かして、見つけることを楽しんでいきます。



ひまわり めっちゃ おおきい。どれくらいかな？

わあ〜！ Aちゃんと
2人つながるくらい
あるで！

きょうは、13こ
さいてるよ！

ひまわりと背くらべ

ひまわりを育てる中で、花の特徴や生長に興味をもつようになります。また、ひまわりの高さくらべをしたり、花の数を数えたりするなど、測ったり数えたりする機会をもちます。

かず

自然素材とのかかわり

石鹸・泡クリーム

泡あそびを繰り返し遊び込むことで水やせっけんの性質を感じ取ります。

水が少ないほうが固い泡ができることに気づくなど、繰り返し素材と関わることで、試行錯誤して遊ぶ楽しさを味わっていきます。

自然素材そのものに触れて楽しむ中で特性を知り、イメージを広げていきます。

どうやって このかたい
クリームつくれたの？



ぶどうみたい

ことば

カメみたい

シャボン玉

テラスが濡れて水たまりのようになっているところにシャボン玉が落ちると壊れないことを発見しました。



ちょっとずつ（息を）いれる
と大きくなった！

オッケー！ながすよ～
ここからでいいの？

ここ ちょっと 水ほしい！

泥んこ遊び

クラス活動として一つの遊びをすることで、自分たちで役割分担をする姿が見られます。自分のしてほしいことを相手に伝え、その要求にこたえ等協力する姿が見られます。

やくそく



土・水に触れることを通して・・・水の感触・土・砂の感触を楽しみ、水に親しむようになり、水が混じることで状態が変化することなどに気づきます。また、友だちと一緒に工夫したり、力を合わせたりしながら、共同性が育まれます。

実践事例

からだ

- ◆ 戸外で十分に体を動かす気持ちよさを体験する。
- ◆ 自分の体に関心を持ち大切にしようという気持ちを持つ。

遊びを中心とする身体活動を十分に行うことで多様な動きを身につけ、何事にも積極的に取り組む意欲を育みます。

プール遊び
スーパーボールひろいやリングくぐりなどの遊びに夢中になって、楽しく挑戦することで、水に対する抵抗をなくします。

何こ ひろえるかな？

かず



大縄とび
友だちが跳ぶのを応援したり、一緒に数を数えたりする中で、自分も積極的に体を動かすようになります。大縄跳びが苦手な友だちが挑戦して、たくさん跳べたことに刺激を受けて、挑戦する意欲が育まれます。

かず

すごいな Kちゃん
がんばれ！

やくそく

マラソン
クラスのみんなや異年齢で、好きな曲に合わせて毎日、体操やマラソンをします。

きょうも マラソン
する～！

やる気がでてきた！



やくそく

- ◆ 友だちと折り合いをつけ、きまりの必要性に気付き、気持ちを調整する。
- ◆ 基本的な生活習慣を身に付け、健康や安全に気を付けて生活する。

ごっこ遊びを通して・・・子どもたちはまねっこや見立て遊びからごっこ遊びへと発展させ、遊びの中で友だちとのかかわりを広げながら、自分のイメージを言葉や動作で表現することを楽しめます。自己主張しながらも、他者を受け止める、協力して遊ぶなど社会性も育まれます。

遊具で修行

共通のアニメの登場人物をイメージして、友だちと一緒にいろいろな遊具に楽しんで取り組もうとします。

わたしも「ドラゴン〇〇しゅぎょう」する！



もっと つよくなって「ししょう」になる！

つながり



やくそく

自分たちで考え工夫し、挑戦できるようにきっかけづくり

興味関心のある絵本を題材にして表現を工夫します。今まで練習してきた縄を使った動きから、ピーターパンが空を飛ぶところや、トンネル、テントをどう縄で表現したらよいか等、みんなで考えます。

手洗いうがい

外遊びが終わったら、手洗いうがいをします。自分の体に関心を持ち、大切にしようとしています。



実践事例

つながり

- ◆自分の力で行動する喜びを味わい、協働する体験を重ねる。
- ◆いろいろな人とコミュニケーションをとる楽しさを体験する。

小学生とも交流を通じて、親しむ気持ちやつながりが生まれ、小学校へのあこがれの気持ちにつながります。

じゃんけん列車、
めっちゃ楽し
かった～！



〇〇小学校 1年生と
〇〇幼稚園年長児との交流

- ① 6月30日
「おむすびころりん」群読、
歌「世界中の子どもたちが」
じゃんけん列車 等
- ② 9月15日
学校探検
グループごとに特別教室の案内やクイズ
をしました。1年教室では、ランドセル
を背負わせてもらう場面もありました。



もっと言いたい子もいる
と思うけど、あと二人に
します。

音楽のへやが
楽しかった～！



他の教室も
もっと行きたかった
です！

ALTと外国の歌や手遊びを通して交流する中で、異文化に触れ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする気持ちが育まれます。



ALTとの交流

英語の歌やリズムにあわせた遊び、紙芝居などをいっしょに楽しみます。ALT（外国語指導助手）の先生と交流することでコミュニケーションを楽しんでいます。

文字のスタンプを一文字ずつおして、招待状を書きます。



ことば

年少さんに招待状

お店やさんごっこに年少さんを誘うために、絵や文で招待状を作ります。親しむ気持ちやつながりが育まれ、年長さんとしての自覚が生まれます。

身近な人々とのかかわりを深め、社会性や認識力を育みます。



〇〇ちゃん、来てくれるかなあ。



コマがまわせるようになったよ～！

あった～！

祖父母や地域の人と遊ぶ

七夕会、焼き芋会、お正月遊びなど、季節の行事に地域の方々や祖父母を招き、遊びを教わりながら楽しみます。



職員研修

5月19日

保育所(園)・幼稚園・認定こども園から小学校へのスムーズな接続に関する研修会

7月 3日

保育所(園)・幼稚園・認定こども園から小学校へのスムーズな接続に関する公開授業



8月 8日

鳴門教育大学 木下光二 教授による講演会

12月 5日

保育所(園)・幼稚園・認定こども園から小学校へのスムーズな接続のための公開保育



編集関係者一覧 (平成 29 年度名張市幼児教育の推進体制構築事業実行委員会委員)

- ◆ 田口 鉄久 鈴鹿大学 教授
- ◆ 高嶋 正広 名張市教育委員会 教育次長
- ◆ 内匠 勝也 名張市教育委員会 教育総務室 室長
- ◆ 中森 早苗 名張市教育委員会 学校教育室 室長
- ◆ 山岡 尚子 名張市福祉子ども部 保育幼稚園室 保育指導担当室長
- ◆ 岡崎 みどり 名張市子ども発達支援センター センター長
- ◆ 上谷 典秀 名張市教育委員会教育センター センター長
- ◆ 廣岡 貞之 名張市立薦原小学校 校長
- ◆ 谷 知泰 名張市立桔梗が丘小学校 教諭
- ◆ 竹延 香 名張市立名張幼稚園 園長
- ◆ 中出 かおり 名張市立錦生保育所 所長
- ◆ 北畑 維久子 名張市教育委員会 幼児教育アドバイザー
- ◆ 小島 淳子 名張市教育委員会 幼児教育アドバイザー
- ◆ 荻田 貴子 名張市福祉子ども部 保育幼稚園室 副参事
- ◆ 松田 淑子 名張市教育委員会 学校教育室 指導主事
- ◆ 西岡 俊充 名張市教育委員会 学校教育室 指導主事

平成 29 年度カリキュラム実践モデル園

- ◆ 名張幼稚園
- ◆ 桔梗南幼稚園
- ◆ 錦生保育所